

平成 29 年度 第 2 回いすみ市地域公共交通会議 会議録

日 時 平成 30 年 1 月 25 日 (木) 午前 10 時 00 分～11 時 15 分

場 所 いすみ市役所大原庁舎 3 階 大会議室

出席委員 (16 名)

いすみ市副市長	上島 浩一
国土交通省関東運輸局千葉運輸支局首席運輸企画専門官 (輸送担当)	中村 光秀
千葉県総合企画部交通計画課企画調整班	稲葉 晋平
千葉県県土整備部夷隅土木事務所所長	山本 篤
千葉県いすみ警察署交通課長	及川 竜昭
東日本旅客鉄道株式会社勝浦駅長	成田 誉紀
千葉県タクシー協会外房支部長 (白子タクシー有限公司)	大矢 昌明
学識経験者	出口 幸弘
学識経験者	石井 敏雄
学識経験者	吉田 優
市民代表	藍野 道郎
市民代表	齋藤 文夫
市民代表	杉田 恵二
一般乗合旅客自動車運送事業者 (小湊鉄道株式会社)	平野 孝之
一般乗合旅客自動車運送事業者 (千葉中央バス株式会社)	須藤 隆哉
一般乗合旅客自動車運送事業者 (浪花タクシー株式会社)	松本 眞

### 欠席委員（3名）

一般社団法人千葉県バス協会専務理事

花崎 幸一

いすみ鉄道株式会社代表取締役社長

鳥塚 亮

学識経験者

井上 和政

### 事務局（2名）

企画政策課課長

藤原 慎

企画政策課課長補佐

石川伸一郎

企画政策課企画班班長

田邊 勝敏

### 議題

- （1）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について
- （2）市内バス利用実績について
- （3）デマンド交通利用実績について
- （4）いすみ市第2次総合計画（案）について
- （5）その他

## 【開会】

事務局（石川補佐）

ただいまより、いすみ市地域公共交通会議を開会いたします。

## 【あいさつ】

事務局（石川補佐）

開会にあたり、出口会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

〔出口会長あいさつ〕

事務局（石川補佐）

ありがとうございました。

議題に移りますが、以降の議事進行につきましては、いすみ市地域公共交通会議設置要綱第6条第1項の規定により、出口会長にお願いしたいと存じます。よろしくお願いたします。

## 【議題（1）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について】

会長（出口会長）

それでは、暫くの間、議事進行を務めさせていただきます。

「議題（1）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」を議題とします。事務局より説明願います。

事務局（田邊）

配布資料一覧4ページ目の資料2をご覧ください。地域公共交通確保維持改善

事業・事業評価（案）となります。

この事業評価につきましては、地域公共交通確保維持改善事業の実施にあたり、実施要領に毎年度、協議会自らによる事業の実施状況の確認、自己評価を行い、当該自己評価の結果を1月末日までに関東運輸局に報告・公表することとされています。

左の欄から順に説明いたします。

「①補助対象事業者」は、本協議会のメンバーであります小湊鐵道株式会社となっています。

「②事業概要」は系統別に記載しております。

いすみ循環 1、は市役所大原庁舎～長者町駅～いすみ医療センターを經由し市役所大原庁舎への運行経路です。

いすみ循環 2 は、市役所大原庁舎～長者町駅を經由して房信夷隅町支店前を終点としています。

いすみ循環 3 は、市役所夷隅庁舎前～下布施を經由して市役所大原庁舎を終点とした運行経路となっており合計 3 系統になります。

「③前回の事業評価結果の反映状況」としましては、前回の事業評価結果を受け、75歳以上の利用者にターゲットを絞り、市内に在住している75歳以上利用者の市内バス無料化に向け、条例・規則の整備を実施しました。市内において公共交通空白地帯は広く、移動手段として自家用車を使用している世帯の中で、高齢者が免許返納後も移動手段確保を図ることが出来るように、事業の維持・適正化に努めました。

「④事業実施の適切性」については、生活交通ネットワーク計画に基づく事業が適切に実施されたかを、A, B, C の 3 段階で評価するとなっています。3 系統とも計画に位置づけられた事業は適切に実施されていると思われまこと

からA評価といたしました。

「⑤目標・効果達成状況」については、補助対象期間（平成28年10月から平成29年9月）中の利用者目標30,000人と設定しておりましたが、利用実績は15,533人でありました。対前年比を系統別にみますと、1系統87.5%、2系統83.6%、3系統92.2%と減少しておりました。

理由としましては、昨年同様ではありますが、高齢の利用者がコミュニティバスからデマンド交通への移行したことによる減少が大きな要因と考えられます。よって、評価としましては利用者目標として一部達成できなかったこととして、B評価といたしました。

「⑥事業の今後の改善点」についてですが、利用目的や利用年齢層、利用先といった利用実態に注視するだけでなく、市民ニーズを調査しながら現状を把握、分析していきたいと考えております。

さらに運行時刻の見直しに配慮しつつ、今後も利用促進に向けた継続的な啓発においても実施していきたいと考えております。

5ページ目は、事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について記載してあります。

6ページ～9ページは事業評価を分かりやすく補足するポンチ資料となっています。9ページ目をご覧ください。平成29年度いすみ市バス交通（市内循環線）の運行実績となります。運行期間は補助対象期間である平成28年10月～平成29年9月となっております。

利用者数15,533人、運行便数3,172便、1便当たりの利用者数4.8人、運行経費22,183,308円、運賃収入5,092,500円、収支率23.0%となっています。

以上で、市内バス利用実績についての説明を終わります。

## 会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

## 石井委員

平均5人という乗車人数は無駄であると思いますが、事務局はどのようにお考えでしょうか。

## 事務局（石川補佐）

利用実態を注視しながら今後の運行を検討していきたいと考えております。

## 事務局（藤原課長）

バスが大きいのに人数が乗っていないから無駄じゃないのかという御意見はごもっともであります。今後は担当が説明していたように市民ニーズ調査しながら現状把握分析したうえで運行経路や便数を見直していく必要があると思います。

また、10月から75歳以上無料パスポート利用開始してからは明らかに高齢の方が使っていることが分かりました。将来的な部分で高齢者の足をどう支えていくか、また、通勤通学の足をどう支えていくかというところにおいては、これから議論していきたいと考えております。本日は今年度の進捗状況を示させていただいておりますが、今後どのようにしていくといった問題提起させていただくのは次回の議題とさせていただければと思っております。

## 会長（出口会長）

ほかにご質問ございませんか。

## 中村委員

資料 2 ⑤目標・効果達成状況についてB評価されておりますが数字だけみれば達成されていないと思うのですが、達成している部分はどのようなところでしょうか

## 事務局（石川）

3万人という利用乗車目標を掲げたのちに、平成27年10月に大幅な運行経路見直し、便数変更の見直しをしております。よって半年間の実績を踏まえた目標設定をするべきでしたが前年対比という目標設定をしてしまいましたので大きな差が出てしまいました。

一部達成できた部分としては交通弱者の足の確保ですとか、利便性の維持という意味でも1便あたりの減少はさほど減らすことなく運行できたことからB評価という評価を付けさせていただいたところでございます。

## 中村委員

ポンチ画2ページ目に定量的な目標・効果が示されておりますので、その中で達成できた部分について記載していただけたらと思います。

### 【議題（2）市内バス利用実績について】

## 会長（出口会長）

「議題（2）市内バス利用実績について」を議題といたします。事務局より説

明願います。

## 事務局（藤原課長）

議題 2～4 について関連する事項であります。

概要を説明させていただいたのち資料の中身について担当より説明させていただきます。石井委員からの質問の際に簡単に説明させていただきましたが、これからいすみ市の地域公共交通をどうするかということについては、我々も見直す時期にきていると認識をもっておりますので、それについての取りかかりと申しますか問題提起させていただきたいと思っております。

市内循環バスにつきましては本格稼働したのが平成 20 年度で、デマンド通は市内全域はじめたのが平成 25 年度ということで、それなりの時期も経過しております。利用者ニーズ、利便性という点においても見直す時期かなと感じております。

特に議題 4 いすみ市第 2 次総合計画は現在策定しているところですが、こちらは平成 30 年度から 10 年間、いすみ市がどういうことを取り組んでいくかということを取りまとめるものであり、市の憲法のような骨格にあたる部分に位置づけられ施策の方向性を定める計画となっております。

市内には J R、いすみ鉄道他に市運営のデマンド交通、循環バス、シャトルバスがありますがトータルで見ていった中で、市民が安心して暮らせる公共交通をどのように構築していくかということのをこれから議論していかなくてはならないと考えております。実際例えば 100 人乗車している人数が多いのか少ないのか、現在の地域公共交通が足りているのか足りていないのか判断が難しいです。今回はデータを示すのみですが、これから市民ニーズや潜在的な需要を地道に調査していきたいと考えております。



## 事務局（田邊）

それでは、「市内バス利用実績」についてご説明させていただきます。

10 ページ目の資料 3 をご覧ください。平成 29 年 4 月～平成 29 年 12 月までの利用者実績となっています。

左から市内循環線、いすみシャトルバスの順で記載してございます。

市内循環線は、3 系統、土日祝日を除く週 5 日の運行となっており、平成 29 年度の 12 月までの乗車実績は 11,420 人、月平均 1,269 人となっております。

また、いすみシャトルバスでございますが、19,136 人、月平均 2,126 人となっております。

11 ページ目～12 ページ目については市内循環バス及びシャトルバスの便数ごとの月別乗車人員となっており、さらに 13 ページ～14 ページでは便別乗車人員の 1 日における利用人数をまとめております。

13 ページをご覧ください。

3 段ある表の上段は利用料金を支払いバス利用した方々の実績になります。中段は今年度 10 月から開始しております 75 歳以上の無料パスポートを使用してバスを利用した方々の利用人数。

下段はそれらを合わせた利用者の合計となっております。

（参考といたしまして H30 年 1 月 1 日現在 75 歳以上の方々はいすみ市内 7,777 名おり、本日現在で無料パスポート発行者数は 388 名となっております）  
いすみ市は今後も高齢化が進むとされていることから、今後も申請者が増えることが予想されますが、高齢化に伴い免許を返納する方々にとっては交通手段維持確保という観点において十分な支援につながるものとして期待されております。

15 ページをご覧ください。平成 29 年度市内バス収入内訳ですが、平成 29 年 4 月～12 月までの実績となっております。

市内循環線は 3,439,850 円、月平均 382,205 円。

いすみシャトルバスは、8,380,450 円、月平均 931,161 円となっております。

以上で、市内バス利用実績についての説明を終わります。

## 会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

## 平野委員

平成 27 年 10 月から市内循環線の利用料を 400 円としております。

運行事業者としてお客様からのご意見としては、デマンド交通と利用料金が同一となっており高いと聞いております。普通ですと 200 円という料金です。今後協議会で料金についても皆さんで考えていただきたいと思います。

## 事務局（藤原課長）

平野委員の高齢者が近くに行った際の負担感といったご意見については、実際に乗車したり、皆様からのご意見を参考にするなど、今後一体になって利便性や仕組みを考えていきたいと考えております。

## 【議題（3）デマンド交通利用実績について】

## 会長（出口会長）

それでは、「議題（3）デマンド交通利用実績について」を議題といた

します。事務局より説明願います。

## 事務局（田邊）

それでは、「デマンド交通利用実績」についてご説明させていただきます。

17 ページ目の資料4をご覧ください。平成29年12月までの利用実績を夷隅・岬・大原と地域ごとに表した資料となっております。夷隅地域の利用実績は3,136人、1日当たり17.0人となっております。（前年3,531人、19.4人/日）前年と比較すると395人の減、1日当たり2人程度の減となっております。夷隅地域は年々減少傾向にあります。

次に岬地域でございますが、利用実績として3,985人、1日当たり21.5人となっております。（前年4,390人、24.1人/日）

前年と比較します405人の減、1日当たり2人程度の減となっております。岬地域においても減少傾向にあります。

最後に大原地域でございますが、利用実績は6,959人、1日当たり37.6人となっております。（前年6,905人、37.9人/日）ですからほぼ横ばいとなりました。3地域全体で料金収入は、5,632,000円となっております。前年が5,930,400円でしたのでおよそ300,000円の減収となりました。

以上で、デマンド交通利用実績についての説明を終わります。

## 会長（出口会長）

事務局の説明がおわりました。ただ今の説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

## 石井委員

先ほど循環バスでもご意見あったようにデマンド交通においても300円から400円に金額の見直しがされた影響があるのかどうかご意見をお伺いします。

## 事務局（田邊）

事業主体である商工会と協力しながら調査していきたい。

### 【議題（4）いすみ市第2次総合計画（案）について】

## 会長（出口会長）

続きまして、【議題（4）いすみ市第2次総合計画（案）について】を議題といたします。事務局より説明願います。

## 事務局（田邊）

それでは、「議題（4）いすみ市第2次総合計画（案）」についてご説明させていただきます。

20ページ～22ページをご覧ください。

今年度いすみ市第2次総合計画を作成し、市内における地域公共交通に関して市民の足の利便性の充実と題して、いすみ市の公共交通機関としてJR外房線、いすみ鉄道、いすみ市民バス、デマンド交通についての現況と課題、また、安心していすみ市に暮らすことが出来るような公共交通ネットワーク構築のために、施策の方針をまとめております。

なお、現在いすみ市第2次総合計画（案）はパブリックコメントを実施中であり、

説明は以上になります。

## 【その他について】

### 会長（出口会長）

「その他」ということで何かございますでしょうか。

### 事務局（藤原課長）

今回の資料からコスト面で補足させていただきます。委託料から人数を単純に割った計算になりますが、現時点で1人あたりにかかる費用としては、市内循環バスで1325円、シャトルバス589円、デマンド交通1827円とかかっている状況です。これが高いか安いかは現時点で判断するべきではないと考えます。というのも、高齢者や交通弱者が乗っているのであれば行政としてみんなで支える考え方は当然あるとおもいますから、一概に高いから安いからというわけではないのです。一方で行政としても予算の制限がありますので、これから利便性を重視していいサービスを安価で提供していなければならないと考えております。

### 稲葉委員

4 ページ目の資料 2 ⑤目標・効果達成状況においてコミュニティバスとデマンド交通が競合しているように見えるのですが、それぞれの立ち位置はどのように考えているのでしょうか

### 事務局（田邊）

市内循環バスはJR・いすみ鉄道をつなぎ、市内主要道路を円で囲む経路となっております。その他公共交通空白地帯の方々の交通を補う移動が困難な方々への役割としてデマンド交通を考えております。

## 平野委員

以前は大原巡回バスが運行していたが収支が悪く運行を取りやめとなった経緯を考えますと、循環バスもデマンド交通も同料金の今、循環バスが必要なのかどうか考えてしまいます。それよりもデマンドを充実させていく形で運行した方が効率がいいのではと思います。

## 須藤委員

今後デマンド交通運行に関しては民間タクシーがおり大変難しい問題であると思いますが、お客様の利用で考えますと区域撤廃することが効率的であると考えます。

## 石井委員

区域撤廃については利便性は必要ではありますが、市民の声を聞きながら判断していく必要があります。

## 事務局（藤原課長）

市としては今回のご意見を踏まえながら論点整理して行きたいと考えております。

## 会長（出口会長）

（他に無ければ）無いようでしたら、以上で議事を終了させていただきます。

以降の進行につきましては、事務局にお願いいたします。

ご協力ありがとうございました。

**【閉会】**

事務局（石川補佐）

以上をもちまして、いすみ市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。